

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和5年 4 月 6 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 ミツミ
所 在 地	〒942-0011 新潟県上越市港町2丁目10番63号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 隈部 博文
担 当 者 連 絡 先	電 話：025-530-9444
	メー ル： mitsumi.niigata@mountain.ocn.ne.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.mitsumi-sensui.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和63年に創業した港湾土木事業者であり、新潟県の港湾を中心に港湾潜水土木一式、海洋港湾調査一式の請負事業を実施している。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海洋汚染を意識した環境配慮型重機の使用とバイオ燃料の利用	使用する重機、船舶へのバイオ燃料の使用 【現状値】使用率 70% 【目標値】使用率 100%
□環境 ✓社会 □経済	プライベートも仕事も充実させる為、多様な働き方ができる環境の整備を進め、ワークライフバランスの実現を目指す	テレワーク導入・柔軟な働き方ができる勤務形態の導入
□環境 □社会 ✓経済	災害時の交通インフラ寸断時に船舶を利用した海路輸送により物資・生活用水を提供し、経済活動復旧支援を行う	保有する船舶の改造、海水から真水を精製する装置を設置

(様式第2号)

企業・団体名(株式会社 ミツミ)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	【メリハリのある職場環境】 テレワークの導入・ワークライフバランスの推進 プライベートも充実できる働き方の推進により生産性向上を図り、メリハリのある働く環境を創出する。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3						8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3													
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5				8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3						8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	証明のLED化、社内空調の温度設定管理から省エネへの取組みを積極的に進めていく。LED化100%・空調設定温度基準値▲2℃設定							7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	港湾土木工事に使用する重機、機器についてバイオ燃料を使用し海洋汚染への取り組み強化、環境保全に貢献していく。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	海・環境を守る、海洋調査と港湾土木工事を提案している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	災害時の交通インフラ寸断時に備え、保有する船舶を利用した海路輸送により物資と生活用水の提供を行い経済活動復興に貢献する。 ＊船舶の改造・海水ろ過装置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	海洋・環境を守る取組みとして事業ノウハウを生かした海を守るボランティア活動に積極的に参加している。			4								11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

令和 6 年 7 月 1 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	新潟県上越市港町 2 丁目 10 番 63 号
名称：	株式会社 ミツミ
代表者：	代表取締役 隈部 博文
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋汚染を意識した環境配慮型重機の使用とバイオ燃料の利用	使用する重機、船舶へのバイオ燃料の使用 【現状値】使用率 70% 【目標値】使用率 100%	80%を達成
□環境 ✓社会 □経済	プライベートも仕事も充実させる為、多様な働き方ができる環境の整備を進め、ワークライフバランスの実現を目指す	テレワーク導入・柔軟な働き方ができる勤務形態の導入	導入における協議を重ねている
□環境 □社会 ✓経済	災害時の交通インフラ寸断時に船舶を利用した海路輸送により物資・生活用水を提供し、経済活動復旧支援を行う	保有する船舶の改造、海水から真水を精製する装置を設置	設置した

(様式第 4 号)

令和 7 年 7 月 25 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	新潟県上越市港町 2 丁目 10 番 63 号
名称：	株式会社 ミツミ
代表者：	代表取締役 隈部 博文
登録年月日：	令和 5 年 3 月 29 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	海洋汚染を意識した環境配慮型重機の使用とバイオ燃料の利用	使用する重機、船舶へのバイオ燃料の使用 【現状値】使用率 70% 【目標値】使用率 100%	82%を達成
□環境 ✓社会 □経済	プライベートも仕事も充実させる為、多様な働き方ができる環境の整備を進め、ワークライフバランスの実現を目指す	テレワーク導入・柔軟な働き方ができる勤務形態の導入	導入における協議を重ねている
□環境 □社会 ✓経済	災害時の交通インフラ寸断時に船舶を利用した海路輸送により物資・生活用水を提供し、経済活動復旧支援を行う	保有する船舶の改造、海水から真水を精製する装置を設置	設置した